



JICA 共同事業ドミニカ共和国梨プロジェクト ドミニカ共和国から農地庁職員2名が本邦研修のため来日

本市は、平成27年9月に開催した駐日外交団地方視察ツアーにおいて、駐日ドミニカ共和国大使館公使(当時)が梨の栽培育成に関心を示したことをきっかけに、松戸市の特産品「まつどの梨」を同国で栽培するための技術支援プロジェクトを行っています。

令和4年4月22日、本プロジェクトは独立行政法人国際協力機構(JICA)の「草の根技術協力事業」として新たなスタートを切り、外部有識者によるプロジェクトチームとともに事業を推進しております。

この度、本プロジェクトのカウンターパートであるドミニカ共和国農地庁より職員2名を招へいし、下記のとおり研修を行いますので、是非取材ください。

記

- 日 程 令和4年9月22日(木)～令和4年10月5日(水)
- 行 程 別添「行程表」参照(取材可能な行程をご確認ください)
- 研 修 生 農地庁コンスタンサ支所長補佐 スリエル ベーズ ホエル アレキサンダー Suriel Baez Joel Alexander
農地庁農業技師 コントレーラス サントス フランデイズ ラファエル Contreras Santos Frandys Rafael
- 目 的 松戸の梨栽培技術を学び、ドミニカ共和国の圃場管理に還元すること。
- 主な内容 ①市内観光梨園の見学及び実習
②千葉大学園芸学部にて果樹に係る講義及び果樹園・植物工場見学
③千葉県農林総合研究センターの見学
④市立松戸高校訪問
- 添付資料 ①行程表
②交流の経緯

なお、新型コロナウイルス感染症等により、急遽予定が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市経済振興部国際推進課 ☎047-710-2725

FAX047-363-2653 ✉ mckokusai@city.matsudo.chiba.jp



●添付資料①「行程表」

日時			研修内容（場所）	取材
9月	22日	(木) -	来日	-
	23日	(祝) 終日	オリエンテーション	-
	24日	(土) 終日	関東圏 道の駅視察	-
	25日	(日) 9:45	育種梨園実習 (TS 圃場：白井市清戸 515-1)	可
		14:00	シティフィルハーモニー管弦楽団 (森のホール 21：松戸市松戸 714-1)	可
	26日	(月) 9:00	観光梨園実習 (吉乃園：松戸市金ヶ作 269-3)	可
		11:00	観光ぶどう園見学 (加藤ぶどう園：松戸市金ヶ作 336-2)	可
		14:00	観光梨園実習 (高春園：松戸市高塚新田 34)	可
	27日	(火) 10:00	千葉大学園芸学部「果樹に係る講義」(松戸市松戸 648)	可
		14:00	千葉大学柏の葉キャンパス果樹園及び植物工場見学 (柏市柏の葉 6-2-1)	可
	28日	(水) 9:00	観光いちご園見学 (Y' sAgri：千葉市若葉区御殿町 699-12)	可
		13:15	千葉県農林総合研究センター見学 (千葉市緑区大金沢町 473-2)	可
	29日	(木) 10:00	甲冑着付け体験 (戸定邸：松戸市松戸 714-1)	可
		13:30	西部防災センター見学 (松戸市松戸 558-3)	可
		14:30	和名ヶ谷クリーンセンター見学 (松戸市和名ヶ谷 1349-2)	可
	30日	(金) 10:00	JICA 東京 事業説明(松戸市小根本 7-8 京葉ガス第二ビル 6階)	可
		13:10	市立松戸高校駐日ドミニカ共和国大使「ホストタウンレガシー講座」(市立松戸高校：松戸市紙敷 2-7-5)	可
10月	1日	(土) 終日	自由時間	-
	2日	(日) 終日	自由時間	-
	3日	(月) 終日	成果発表準備 (国際友好ルーム：松戸市松戸 1307-1 文化ホール 4階)	可
	4日	(火) 11:00	駐日ドミニカ共和国大使館表敬訪問 (港区西麻布 4-12-24)	-
		16:00	松戸市長表敬・研修報告 (松戸市役所新館 5階市民サロン)	可
		16:30	プロジェクトチーム会議 (松戸市役所新館 5階市民サロン)	可
	5日	(水) -	帰国	-

※交通状況等により、開始時間が前後する場合があります

●添付資料②「ドミニカ共和国梨プロジェクト経緯」

平成 27 年 9 月	<p>「駐日外交団地方視察ツアー」実施 参加した駐日ドミニカ共和国大使館エルネスト・トーレス・ペレイラ公使（当時）が梨の育成に関心を示す</p>
平成 28 年 6 月	<p>本市副市長（当時）を団長とする訪問団による梨育成に関する現地調査、及び東京 2020 大会の事前キャンプ招致に関する協議を実施</p>
平成 28 年 11 月	<p>本市と農地庁による梨の栽培に係る「覚書」を締結</p> 
平成 28 年 12 月	<p>本市が東京 2020 大会のドミニカ共和国のホストタウンに決定</p>
平成 29 年	<p>条件を満たす梨の選定</p>
平成 30 年 1 月	<p>本市訪問団がドミニカ共和国へ渡航 第 1 回梨の専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地庁関係者及び一般農家に事業説明会を開催（約 50 名参加） ・梨の苗木 25 本と種子を圃場に植樹 <p>東京オリンピックで事前キャンプを実施するため、本市施設の視察のための関係者招聘を協議</p> 
平成 30 年 3 月	<p>松戸市内さくらの名所見学ツアー開催 参加国：ドミニカ共和国・エルサルバドル・パナマ・ウルグアイ・ベネズエラ・コスタリカ・ペルー・キューバ</p> 

ドミニカ共和国梨プロジェクト経緯

<p>平成 30 年 6 月</p>	<p>本市訪問団がドミニカ共和国へ渡航 第 2 回梨の専門家派遣 ・ コアメンバーと一般農家にセミナーを実施 (52 名参加) 事前キャンプ実施のための本市視察についてドミニカ共和国オリンピック委員会・各競技連盟と具体的内容を協議</p> 
<p>平成 30 年 8 月</p>	<p>ドミニカ共和国 3 競技連盟 (ソフトボール、バレーボール、テコンドー) 代表が本市施設を視察。本市を事前キャンプ地とする覚書を締結</p> 
<p>平成 30 年 10 月</p>	<p>第 1 回ドミニカ共和国研修員受け入れ 農地庁生産部長 ミゲル・カレリン・サンチェス 氏 (当時) 農地庁コンスタンサ支所長 カレリン・フェルナンデス 氏 (当時) コンスタンサ市長 アンビオリクス・サンチェス 氏 (当時)</p> 
<p>平成 31 年 2 月</p>	<p>第 3 回梨の専門家派遣 ・ 農地庁、農務省、環境省、コンスタンサ市役所を訪問 ・ 接ぎ木を指導 (コアメンバー及び農業生産組合員 10 名) ・ 移植候補地として、バジェ・ヌエボ、ビラ・ポピーを視察</p> 
<p>平成 31 年 3 月</p>	<p>『外務省主催 平成 30 年度 Juntos!! 中南米対日理解促進プログラム ドミニカ共和国派遣事業』に流通経済大学の学生 2 名を派遣。</p>

ドミニカ共和国梨プロジェクト経緯

<p>令和元年 6 月</p>	<p>第 4 回梨の専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地庁、農務省、コンスタンサ市役所、日本国大使館を訪問 ・ 農地庁長官主催のセミナーにて、梨の専門家がコアメンバーと一般農家に梨の 1 年間の栽培サイクルを解説
<p>令和元年 10 月</p>	<p>第 2 回ドミニカ共和国研修員受け入れ 農地庁コンスタンサ管理者 ダリオ・モレノ・モレノ 氏 農業法人アグロ・コンスタンサ ファン・ディエゴ・ゴメス 氏</p>
<p>令和元年 10 月</p>	<p>平成 30 年 1 月に植樹した苗木 3 本から 5 個の実を収穫。糖度は</p>
<p>令和元年 11 月</p>	<p>ドミニカ共和国体操競技連盟代表が本市施設を視察。</p>
<p>令和元年 12 月</p>	<p>第 5 回梨の専門家派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業生産組合及び近隣住民組合に、セミナーを実施 (20 名参加)



13.75 度 (梨の平均的な糖度は 12.5 度)。



ドミニカ共和国梨プロジェクト経緯

<p>令和2年1月</p>	<p>本郷谷健次市長を団長とする訪問団が、ドミニカ共和国を訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前キャンプ実施に向けて、オリンピック委員会・各競技連盟と協議 ・体操競技連盟と、本市を事前キャンプ地とする覚書を締結 ・苗木が植えられているコンスタンサ市の圃場を視察
<p>令和2年2月</p>	<p>文化観光国際課長と担当者が、ドミニカ共和国を訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JICA現地事務所、日本国大使館、農地庁、コンスタンサ市役所訪問 ・現地法人ドミニカ日系人協会訪問
<p>令和2年3月～現在</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・梨の専門家派遣（新型コロナウイルス感染症のため中止）の代わりに、リモートによる栽培指導を実施 ・メールやビデオ会議による隔週の報告及び四半期ごとの報告書の作成
<p>令和2年9月</p>	<p>平成30年1月に植えた苗木8本に19個、令和元年1月に植えた種から生育した18本に26個の実を確認</p>
<p>令和2年11月</p>	<p>17個の実を収穫</p>
<p>令和2年12月</p>	<p>梨の種1,000粒を送付し、現地で播種</p>
<p>令和3年2月</p>	<p>駐日ドミニカ共和国大使が本郷谷市長を表敬訪問</p>
<p>令和3年3月</p>	<p>本市の梨プロジェクトがJICA草の根技術協力事業採択</p>
<p>令和3年5月</p>	<p>JICA 東京所長が市長表敬訪問</p>



ドミニカ共和国梨プロジェクト経緯

<p>令和3年7月</p>	<p>ドミニカ共和国テコンドー選手団の事前キャンプを実施</p> 
<p>令和3年7月</p>	<p>「日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト」第1回プロジェクトチームを開催</p> 
<p>令和3年8月</p>	<p>ロベルト・タカタ特命全権大使が観光梨園訪問</p> 
<p>令和3年8月</p>	<p>ロベルト・タカタ特命全権大使から、ホストタウン事業に係る感謝状授与</p> 
<p>令和3年10月</p>	<p>「日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト」第2回プロジェクトチームを開催</p>
<p>令和3年10月</p>	<p>在ドミニカ共和国日本国大使館 高木昌弘特命全権大使による市長表敬訪問</p>  
<p>令和3年10月</p>	<p>在ドミニカ共和国日本国大使館 牧内博幸前特命全権大使を訪問</p>

ドミニカ共和国梨プロジェクト経緯

<p>令和3年12月</p>	<p>JICA 職員による梨園訪問</p> 
<p>令和4年3月</p>	<p>「日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト」 第3回プロジェクトチームを開催</p>
<p>令和4年4月</p>	<p>コンスタンサ市への寄贈消防車お披露目</p> 
<p>令和4年4月</p>	<p>「日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト」 令和4年度第1回プロジェクトチームを開催</p> 
<p>令和4年5月</p>	<p>日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト 現地調整員渡航</p>
<p>令和4年6月</p>	<p>日本梨をラ・クラタ地区の特産品にする産地形成プロジェクト チームメンバー渡航</p> 